

九大病院だより

Public Relations Magazine of Kyushu University Hospital 2010.07



九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

■不妊治療のご紹介



九州大学病院産科婦人科では2006年12月に不妊症の治療の一つとして生殖補助医療（ART）の体外受精・胚移植治療（IVF-ET）を開始し、2010年5月にIVF-ET専用のART室を南棟5階に移設しました。

自分の遺伝子を受け継ぐ子孫を残したい、これは生物には普遍的な欲求であり、子どもをすることは何人も妨げるこのできない権利です。しかし最近の晩婚化、女性の社会進出により、いざ子どもを欲しいと思った時にはすでに35歳を超え、卵巣機能が低下していたり、あるいは病気を抱えているために子どもを諦めている方もいることでしょう。

本院は大学病院であり、さまざまな診療科がそろっています。合併症をお持ちの方も原疾患が十分に安定していて、原疾患の主治医から妊娠、出産の許可が出れば、原疾患をコントロールしながら不妊治療、妊娠管理を行うことができる場合があります。

当科では一般的な不妊検査を夫婦両者に行った後、必要があれば詳しい検査を追加し、不妊の原因に対して治療を行いながら、タイミング法、人工授精、体外受精と身体にできるだけ負担をかけない治療から徐々にステップアップします。

新しい生命を育てていくことは責任も苦勞も伴いますが、大きな喜びをもたらしてくれることも事実です。これまでの経過を記載した主治医の先生の紹介状を準備の上、ご相談ください。



前核期



4分割



8分割



胚盤胞



お問い合わせ ◎九州大学病院産科婦人科外来 TEL 092-642-5409 (予約制：要紹介状)

コラム
Column



病を治すこと

耳鼻咽喉・頭頸部外科長

こむね しずお
小宗 静男
Shizuo Komune

私が九州大学病院で医師としてのスタートを切ったのは1975年で、すでに35年の歳月が経ちました。その頃の構内には明治時代の九州大学病院開設当時の教室が残っていて、解剖、生理、生化学も、事務棟もその当時の建築のままでした。それまで臨床各科は独立して診療を行っていたわけですが、私が入局する数年前にすべての科をまとめて中央診療とする

新病院（今改修している旧病院）が建設されるに従って、昔からの建物が次第に壊されつつありました。我々がそのようなものを見て知っている最後の世代だと思います。

現在の新病院の場所には見事な桜並木があり、花見の季節には各教室がそこで花見をしておりました。古き良き時代でありました。

昨年、外来診療棟が新たに開院し、地元を含めた西日本地区の基幹病院としてこれから大きく貢献してゆくことは疑いのないところでありますし、それが本院の使命であり、我々の誇りでもあります。一つだけさびしいことがあります。それは病院から緑と土と花がどんどんなくなってゆくことです。

患者さんのために最先端の医療研究を含めさまざまな事が行われています。でもふっと思うのです。コンクリートの建物の中だけが治療の場かと。美しい心安らぐ自然の中で、日を浴びながら散歩し、語り合い、生について思いをはせる。そのようなことも治療の大きな一環であると思うのです。

▶▶▶ 診療科のご案内 ①

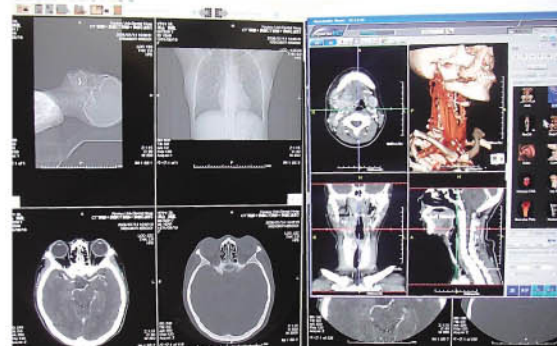
口腔画像診断科

当科では、口腔（こうくう：口の中）・顎骨（がっこつ：あごの骨）・顔面・頸部領域の病変や、咬合（こうごう：咬み合わせ）・咀嚼・嚥下（えんげ：食べ物を飲み込むこと）にかかわる疾患に対する各種画像検査と診断を行っています。

CT検査では精密な撮影と任意の方向から作り直した画像や立体画像作成により、疾患の鑑別や原因の特定を行います。悪性腫瘍ではCTで検出されるリンパ節に対し、さらに超音波による精密検査を行います。口腔がんに対しては放射線治療グループと共同で、放射線障害防止のためのスペーサーを応用した放射線治療と患者さんの口腔内管理を行っています。画像検査手技を応用した患者さんの身体に負担の少ない治療も行っていきます。

また、他医療機関からの一般X線撮影や画像検査依頼も積極的に受け入れていて、歯科用インプラント、埋伏歯、顎関節症など依頼医のニーズに合わせたきめ細かな検査と正確な診断を行っています。

<http://rad.dent.kyushu-u.ac.jp/>で検査の説明や申し込み用紙がご覧いただけます。



任意断面再構成画像(左)と3次元画像による精密診断

▶▶▶ 診療科のご案内 ②

眼科



顕微鏡を用いた網膜硝子体手術風景

眼科では、まぶた、眼球、視神経、眼窩（がんか：眼球の裏側）のさまざまな病気の診療を行っています。九州大学病院眼科では特に加齢黄斑変性、網膜硝子体疾患（糖尿病網膜症・黄斑円孔・黄斑前膜・網膜剥離）に力を入れていて、ぶどう膜炎、緑内障、網膜色素変性症、眼腫瘍についても専門的な診療を行っています。

加齢黄斑変性ではVEGF（異常血管を成長させる物質）の阻害薬の眼内注射ほか多数の新規治療、難治性ぶどう膜炎に対してはTNF（炎症を起こす鍵となる物質）の阻害薬治療など、また網膜色素変性に対しては遺伝子治療の準備をすすめています。

網膜硝子体疾患の手術は年間約650例と国内屈指の手術症例数です。そのほかにも角膜移植も年間10例ほど行って、総合的に高度な医療を提供できるよう努力しています。

■ 病棟薬剤師をご存知ですか？

本院では、病棟のほぼ全てのフロアに薬剤師がいます。

病棟薬剤師は、入院患者さんの病状にあわせてお薬が適切な量で処方されているか確認をして、絵や図などを用いたわかりやすい資料でお薬の説明を行っています。

入院時に、服薬状況や持参薬を確認するのも大切な仕事です。入院される際は、お持ちのお薬・お薬手帳・お薬説明書が役立ちますので、必ずご持参

ください。ご自宅での服薬状況、薬や食べ物などのアレルギー歴、健康食品の摂取について確認し、副作用や相互作用を防ぐため、医師や看護師と情報を共有しています。

病棟薬剤師は、「お薬のこと何でもご相談ください」と書いたバッジをつけています。入院中お薬でお困りのことやご相談がありましたら、お気軽に声をかけてください。お待ちしております。



第1回 家庭でできる口腔管理

なぜ、むし歯になるの？

—— 家庭でできるむし歯予防 ——

九州大学病院 歯内治療科 友清 淳

近年むし歯は減る傾向にありますが、それでも多くの方がむし歯にかかっています。なぜ、むし歯はなくなるのでしょうか？

じつは、口の中には常にたくさんの細菌が存在しています。むし歯は、歯表面の細菌が食物中の糖を原料として酸を作り出し、歯を溶かすことで起こります。つまり、むし歯は「細菌」と「糖分」が原因なので、どの人もなる可能性があるのです。

しかし、みなさんの周りにはむし歯になりやすい人、なりにくい人がいませんか？ なりやすい人の歯には、白くねばねばした歯垢（プラーク）が多く認められます。このプラークは細菌の塊で、むし歯の大きな原因

になります。またなりやすい人は、間食を多くとっています。間食をしてだらだらと食べ続けると、口の中に常に糖分が存在するため、細菌は酸を作り続けます。

逆になりにくい人は、上手に細菌と糖分を減らしています。ご家庭でも、歯磨きによってプラークは除去でき、食習慣の改善によって糖分を減らすことができます。また歯科では、一人ひとりに合わせたブラッシング指導も行っています。写真のように、小さなむし歯や詰め物をしてあっても、じつは中で広がっていて、大きく削る場合もあります。日々の積み重ねで、むし歯になりにくい健康な口の中を作りましょう！



①白矢印のように小さなむし歯のように見えたり、黄矢印のように詰め物がしてあっても油断はできません。②③歯の内側でむし歯が進行していると、赤丸のように大きく削らなければならないこともあるので注意が必要です

別府先進医療センターのご紹介

栄養管理室



栄養管理室には給食管理部門と栄養管理部門があります。給食管理部門は治療食の提供を担当する部門です。安心して美味しく食べていただける食事を心がけ、皆さんの意見を大切に栄養士と調理師が創意工夫をして献立を作成しています。

栄養管理部門は入院患者さんの栄養状態を検討し、医師・看護師・薬剤師なども参加する栄養支援チーム（NST）で栄養療法を支援します。また一人ひとりのライフスタイルに合わせた、無理なく続けられる食事療法の提案を行います。

このほか、近隣の大学・短大での講義や実習生の受け入れなど後進の指導にも力を入れています。昨年「栄養士スキルアップ研究会」を立ち上げ、治療食での施設間格差をなくすことを目標にして、地域の医療機関との連携を強化しています。



喫煙場所はここだけです

九州大学病院の建物内は禁煙になっています。喫煙は下記マップの場所でお願います。

建物外においても、外来診療棟周辺や南棟「時間外出入り口」周辺では、

- ①人の出入りが多いので受動喫煙のおそれがあること
- ②たばこのポイ捨て等のごみの発生が多く、マナーがよくないこと
- ③南棟「時間外出入り口」は救急車が停車しますので、酸素吸引などを行っている場合は事故の恐れがあること

などから、出入り口周辺などの喫煙はしないようご協力お願いします。
なお、入院中の患者さんは禁煙となっています。



外来診療日一覧

- 休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29-1/3)
- 初診受付時間 8:30-11:00 (自動再来受付機 8:15-17:00)
- 外来玄関開閉時間 7:30-18:00

■外来診療棟

階/受付	診療科名	初診日	再診日
4階/西	心療内科 TEL 642-5335	月・木	火・水・金
	呼吸器科 TEL 642-5388	月・水・金 ※要紹介状	月・火・水・金
	■外科 ◎消化管外科(1)◎胆道、膵臓、膵臓移植・腎臓移植外科 ◎呼吸器外科(1)◎乳腺外科(1) ◎内分泌外科 TEL 642-5453	火・木	火・木
	■外科 ◎消化管外科(2)◎肝臓、脾臓、門脈、肝臓移植外科 ◎呼吸器外科(2)◎乳腺外科(2) ◎血管外科 TEL 642-5479	月・水・金	月・水・金
先端工学診療部 TEL 642-5993	月・水・金	月・水・金	
4階/東	産科婦人科 TEL 642-5409	月一金 ※要紹介状の予約制	月一金
	ペインクリニック(麻酔科蘇生科) TEL 642-5719	月・火・水・金	月一金
4階/東第2	再生歯科・インプラントセンター TEL 642-6361	月一金	月一金
3階/西	■内科 ◎血液・腫瘍内科 ◎免疫・膠原病・感染症内科 ◎消化管内科◎腎・高血圧・脳血管内科◎内分泌代謝・糖尿病内科◎肝臓・膵臓・胆道内科 ◎先端分子・細胞治療科 TEL 642-5302	月一金 ※曜日によっては専門医が診療できない場合があります。	月一金
	■ハートセンター外来 ①循環器内科②血液・腫瘍内科 TEL 642-5371 ③心臓血管外科 TEL 642-5565	①月一木 ②火一金 ③月・水・木	①月・水 ②火一金 ③水・木
3階/東	皮膚科 TEL 642-5597	月・水・金 ※要紹介状	火・木
	耳鼻咽喉・頭頸部外科 TEL 642-5681	火・木	月・水・金

階/受付	診療科名	初診日	再診日
2階/西	神経内科 TEL 642-5349	火・木・金	月・水
	脳神経外科 TEL 642-5533	月・水・金	月・水・金
2階/西第2	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 TEL 642-5615	火・木	月・水・金
	精神科神経科 TEL 642-5640 子どものこころの診療部 TEL 642-5642	火・木	月一金
2階/東	眼科 TEL 642-5660	月・水・金	月一金
	整形外科 TEL 642-5504	月・水・金	金
1階/西	放射線科 TEL 642-5705	月・水・金	月一金
	総合診療科 TEL 642-5300	月一金	月一金

棟	階	診療施設等	電話番号
外来診療棟	4階	ストーマ看護外来	642-5479
		助産師外来	642-5900
	3階	糖尿病フットケア外来(金)	642-5302
	2階	外来化学療法室	642-5125
		がん相談支援室・緩和ケア	642-5200
		総合案内	642-6270
		外来受付	642-5138
		入院受付	642-5150
		公費相談窓口	642-5153
		支払窓口	642-5169
	患者様相談窓口	642-5132	
1階		地域医療連携センター	642-5165
		社会福祉相談窓口	642-5167
		在宅療養支援室	642-5185
		高度先端医療センター	642-5858
		栄養相談室	642-5180
南棟	2階	時間外受付	642-5163
	1階	リハビリ受付	642-5862

■北棟

階/受付	診療科名	初診日	再診日
5階/西	小児科 TEL 642-5430	月一金 専門医が診療できない場合があります。	月一金
	小児外科、小腸移植外科 TEL 642-5578	月・水・金	月・水・金
	臨床遺伝医療部 TEL 642-5421	月一金	金
	小児歯科 TEL 642-6465	月一金	月一金
5階/東	矯正歯科 TEL 642-6460	月一金	月一金
	全身管理歯科 TEL 642-6483	月一金	月一金
	顎口腔外科 TEL 642-6445	月一金	月一金
	顔面口腔外科 TEL 642-6450	月一金	月一金
4階/西	歯科麻酔科 TEL 642-6479	月一金	月一金
	歯周病科 TEL 642-6425	月一金	月一金
	歯内治療科 TEL 642-6430	月一金	月一金
	咬合補綴科 TEL 642-6435	月一金	月一金
4階/東	義歯補綴科 TEL 642-6440	月一金	月一金
	歯科総合予診 TEL 642-6500	月一金	月一金
	口腔画像診断科 TEL 642-6471	月一金	月一金
	口腔総合診療科 TEL 642-6490	月一金	月一金

平成22年7月現在

※赤色の曜日は予約が必要です。 ※電話予約受付時間14:00-16:00 予約に関するお問い合わせは、各診療科外来へ直接お電話ください。(市外局番は「092」です)
※再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となる場合がありますので、あらかじめ受診科「外来」にお確かめ願います。

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく!

※保険証の表示がない場合には、保険の取扱いができません。

外来患者さんへ

- ◎本院のお薬は原則として「院外処方」としています。「院外処方せん発行」にご協力ください。
- ◎外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので出来るだけ公共の交通機関をご利用いただきますようご協力願います。

■病院の理念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

- ①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ②プライマリ・ケア診療の充実
- ③全人的医療が可能な医療人の養成
- ④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ⑤国際化の推進